箱庭と植物・動物の共生

一般社団法人

日本箱庭療法学会

第39回大会

2026年

10月31日(土)・11月1日(日)

会場(オンサイト) 京都大学　　オンライン Zoom

プログラム

The Japan Association of Sandplay Therapy

一般社団法人

日本箱庭療法学会

第39回大会

2026年10月31日（土）・11月1日（日）

プログラム

京都大学/Zoom

一般社団法人日本箱庭療法学会第39回大会の開催にあたって

秋涼の候，日本箱庭療法学会の会員の皆様におかれましては，ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび，日本箱庭療法学会第39回大会を2026年10月31日（土）・11月1日（日）に，京都大学およびZoomによるハイブリッド形式で開催いたします。本大会は，学会理事会の主催による大会となります。

本大会では「箱庭と植物・動物の共生」というテーマを掲げました。植物も動物も，箱庭のなかで非常によく用いられる，表現において重要な役割を担うアイテムたちです。それらが砂箱の空間のなかでどのように関連し合い，イメージを紡ぎ，一つの世界を織りなしているのかを，生態学における「共生」という視点を補助線とすることで，改めて見つめ直したいと考えています。

大会初日のシンポジウムでは，京都大学名誉教授であり，長年にわたり屋久島などのフィールドで植物と動物の相互関係を研究してこられた湯本貴和先生をお招きいたします。先生は，生態学の第一人者として，異なる種が互いに影響し合いながら生きる「共生」の仕組みを解き明かしてこられました。当日は，「共生とはなにか？―植物と動物との相互関係の研究から」というタイトルでご講演いただきます。

このご講演を受け，指定討論者として当学会の河合俊雄理事と岩宮恵子理事が加わり，臨床的な観点からさらに議論を深めていきます。生態学の知見と心理臨床の視点が響き合い，箱庭療法におけるイメージの生成や変容のプロセスを捉え直す，貴重な対話の場となることを期待しております。

あわせて，初日の午前中には，12名の講師によるワークショップが開催されます。多彩なテーマから，箱庭療法をはじめとしたイメージの心理療法について理解を深める，実り豊かな研鑽の場になることと思います。

会場となる京都大学は，本学会にとってゆかりの深い場所です。ハイブリッド形式での開催を通じ，秋深まる京都の会場に集う皆様，またオンラインを通じて参加される皆様が一堂に会し，活発な議論を共有できる2日間となりますことを切に願っております。

一般社団法人日本箱庭療法学会

理事長　桑原　知子

【会　場】

- **吉田南総合館 北棟**
  ワークショップ・研究発表会場
- **百周年時計台記念館**
  シンポジウム・理事会・会員総会会場

【住所（両会場共通）】

〒606-8501　京都市左京区吉田本町

京都市バスでお越しの方

「京大正門前」から徒歩５分、
「百万遍」から徒歩 10 分

京阪電車でお越しの方

「出町柳駅」から徒歩 20 分

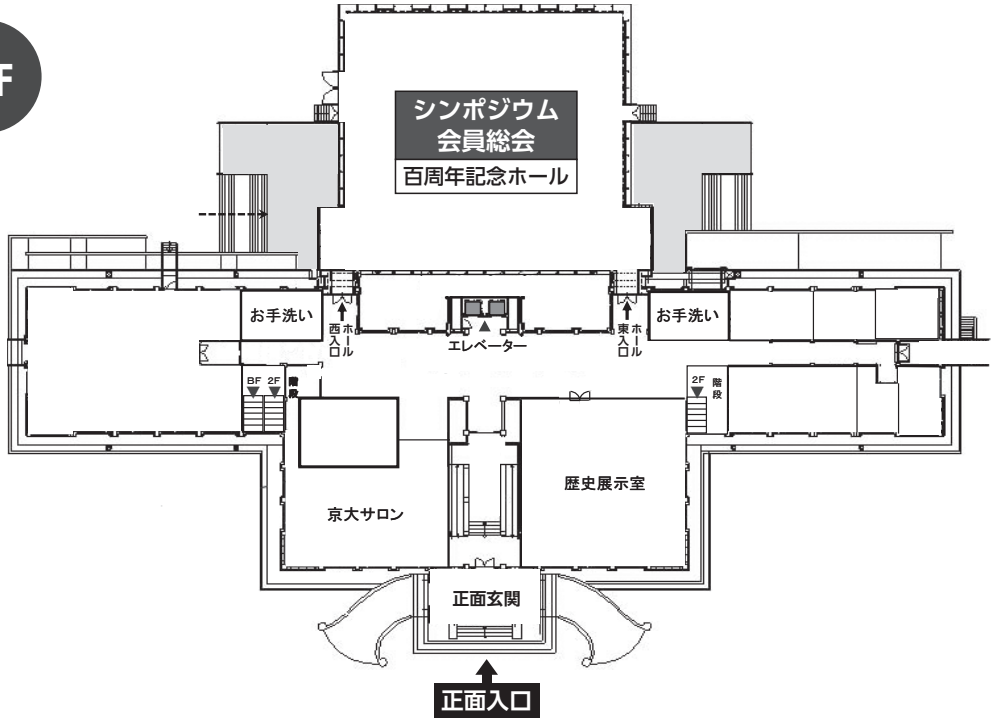
ご注意

京都駅から市バスをご利用の場合、
系統によっては清水寺・八坂神社・三十三間堂など
観光地を経由するため、土日や観光シーズンは
道路混雑により所要時間が大幅に変動する場合が
ございます。
お時間に余裕を持ってお越しください。

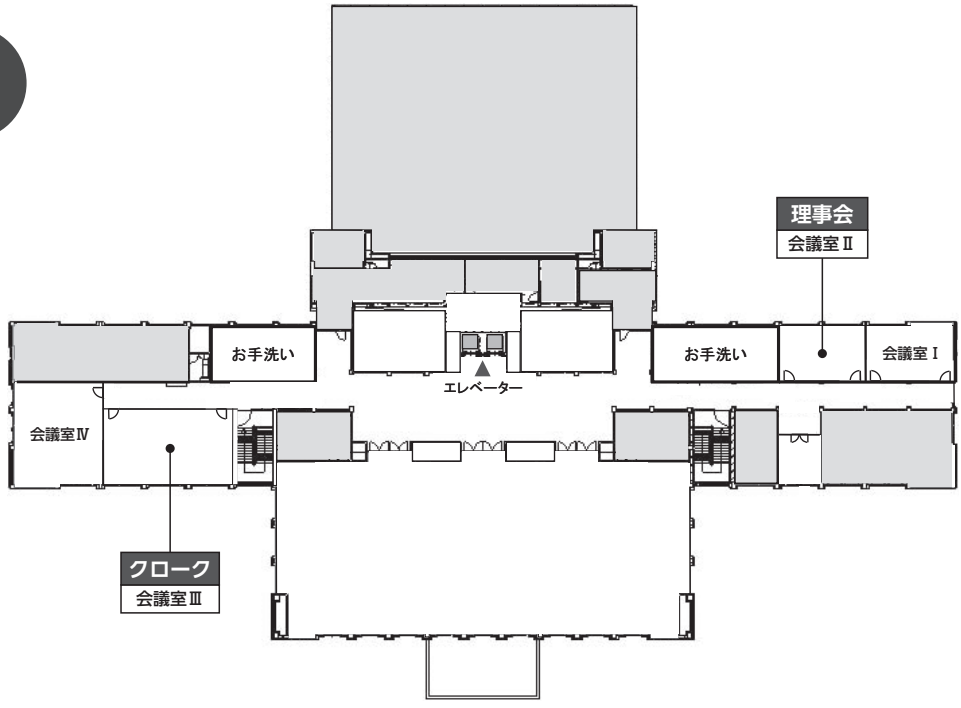
※会場により入口が異なりますので、上図をご確認ください。

百周年時計台記念館

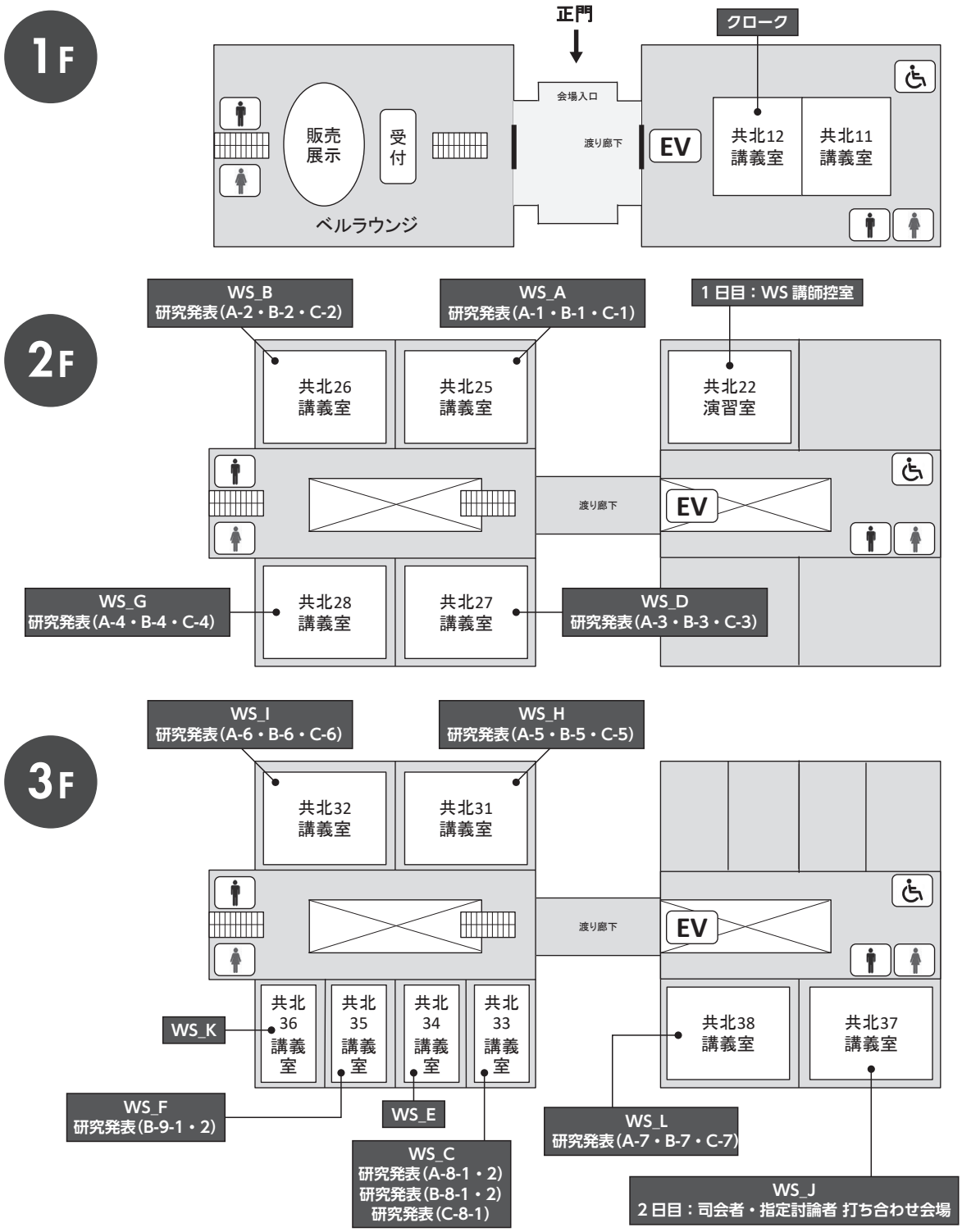
1F



2F



吉田南総合館北棟


1F
正門
クローク
会場入口
販売
展示
受
付
渡り廊下
EV
共北12
講義室
共北11
講義室
ベルラウンジ
2F
WS_B
研究発表(A-2・B-2・C-2)
WS_A
研究発表(A-1・B-1・C-1)
1日目：WS 講師控室
共北26
講義室
共北25
講義室
共北22
演習室
渡り廊下
EV
WS_G
研究発表(A-4・B-4・C-4)
共北28
講義室
共北27
講義室
WS_D
研究発表(A-3・B-3・C-3)
3F
WS_I
研究発表(A-6・B-6・C-6)
WS_H
研究発表(A-5・B-5・C-5)
共北32
講義室
共北31
講義室
渡り廊下
EV
WS_K
共北
36
講義
室
共北
35
講義
室
共北
34
講義
室
共北
33
講義
室
共北38
講義室
共北37
講義室
WS_F
研究発表(B-9-1・2)
WS_E
WS_C
研究発表(A-8-1・2)
研究発表(B-8-1・2)
研究発表(C-8-1)
WS_L
研究発表(A-7・B-7・C-7)
WS_J
2日目：司会者・指定討論者 打ち合わせ会場

1日目　10月31日（土）

9:00 9:30		12:00	13:30		16:30 16:45	17:45
受付	ワークショップ	休　憩 理事会	シンポジウム		休憩	会員総会

2日目　11月1日（日）

9:00 9:30		11:30	12:45		14:45 15:00	17:00
受付	研究発表A	休　憩 司会者・指定討論者打ち合わせ会	研究発表B		休憩	研究発表C

- 本大会はオンサイト（京都大学百周年時計台記念館，吉田南総合館北棟）とオンライン配信（Zoom）を併用したハイブリッド形式にて開催いたします。

  ・オンサイト参加の方：P.11「オンサイト参加者へのご案内」をご覧ください。

  ・オンライン参加の方：P.13「オンライン参加者へのご案内」をご覧ください。

- 講師・事例発表者・研究発表者・司会者・指定討論者は原則オンサイト（京都大学百周年時計台記念館，吉田南総合館北棟）となります。

  ・事例発表者・研究発表者：P.15「発表者へのご案内」をご覧ください。

  ・司会者・指定討論者：P.17「司会者・指定討論者へのご案内」をご覧ください。

① 参加資格

- 大会への参加には，原則として一般社団法人日本箱庭療法学会会員であり，かつ，2026年度年会費を納入していることが必要です。年会費についてはP.18「学会事務局からのお願い」をご覧ください。
- 本学会のワークショップにつきましては，非会員の方も参加できます。ただし，臨床心理士の有資格者，臨床心理学を学んでいる大学院生，臨床心理学およびその関連領域で実践的な仕事に従事されている方で，心理臨床事例に関する守秘義務を守れる方に限ります。
- シンポジウムは非会員・一般の方にもご参加いただけます。

② 受付

- 9月30日（水）17:00までに参加登録・お支払いを完了された方には，参加名札・ネームホルダー（「大会参加」申し込みの方には大会論文集）を事前発送いたします。発送時にはメールでお知らせいたしますので，当日は必ずご持参のうえ，お越しください。
- 9月30日（水）17:00以降に参加登録・お支払いをされた場合は，当日会場にて参加名札等をお渡しいたしますので，受付（吉田南総合館北棟1階）にお越しください。

※ 会場内では，事前に送付した「名札」をご着用ください。

- ワークショップを予約された方は，申し込まれたワークショップ会場の受付までお越しください。
- 本大会のみ予約された方は，直接シンポジウム会場（京都大学百周年時計台記念館）までお越しください。
- 11月1日（日）から参加される場合は，直接各会場までお越しください。

<u>※会場内では，事前に送付した「名札」をご着用ください。</u>

③ 資料回収

- 配布資料を確実に回収させていただくために，資料をお渡しする際に資料記載のナンバーを控えさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

④ 携帯電話・録音・撮影

- ワークショップ，シンポジウム，研究発表の会場では，携帯電話の電源を切るかマナーモードにしていただきますようお願いいたします。
- 録音・撮影は固くお断りいたします。

⑤ クローク

- 下記の場所にクロークを設置いたしますので，ご利用ください。
  場所：吉田南総合館北棟1階 共北12講義室
  日時：10月31日（土） 9:00～13:30
  11月1日（日） 9:00～17:30

場所：百周年時計台記念館2階 会議室Ⅲ
日時：10月31日（土） 13:00～18:00

※ お預けになったお荷物は，各クロークの受付時間内に必ずお引き取りください。
※ 貴重品はお預けにならないようお願いいたします。

⑥ 喫煙

- キャンパス内は全面禁煙となっております。

⑦ 展示・販売

- 書籍販売・企業展示を下記のとおり行います。
  日時：10月31日（土） 9:00～13:30
  　　11月1日（日） 9:00～17:00
  場所：Bell Lounge（吉田南総合館北棟1階）

※ 出展社により販売終了時間が異なります。

⑧ 駐車場

- 駐車場はございません。お車でお越しの際は，近隣のコインパーキングをご利用ください。

⑨ 臨床心理士継続研修ポイント証明書の発行

- 臨床心理士教育・研修規定別項第2条（3）により，参加者（ワークショップおよびシンポジウムに合わせて参加された方，大会に参加された方），指定討論者，司会者，発表者（ワークショップを含む）には所定の研修ポイントが付与されます。
- 研修証明書は，参加登録システムより各自でダウンロード・出力をし，大切に保管していただくようお願いいたします。別途，会場でのお渡しや発行はいたしません。

① 参加資格

- 大会への参加には，原則として一般社団法人日本箱庭療法学会会員であり，かつ，2026年度年会費を納入していることが必要です。年会費についてはP.18「学会事務局からのお願い」をご覧ください。
- 本学会のワークショップにつきましては，非会員の方も参加できます。ただし，臨床心理士の有資格者，臨床心理学を学んでいる大学院生，臨床心理学およびその関連領域で実践的な仕事に従事されている方で，心理臨床事例に関する守秘義務を守れる方に限ります。
- シンポジウムは非会員・一般の方にもご参加いただけます。

② オンライン参加について

- オンライン参加の方は，参加登録システムにてZoom配信日程表（PDF）をご確認いただけます。
- 配信日程表より各プログラムへアクセスし，Zoomへ入室してください。
- 入室の際は，必ず申し込み時のお名前でのご参加をお願いいたします。申し込み時のお名前と異なる場合，参加確認および研修証明書の発行ができかねますので，ご注意ください。
- 質問等は，すべてチャット機能をご利用ください。

③ ワークショップについて

- 10月31日（土）9:20から入室が可能です。
- 参加登録システムより，申し込みしたワークショップに入室してください。
- 資料は，当日チャットにてGoogleドライブのURLをお知らせいたしますので，そちらからアクセスをお願いいたします。資料は，ダウンロード・印刷することはできません。

④ シンポジウムについて

- 10月31日（土）13:15から入室が可能です。

⑤ 会員総会について

- オンサイトのみの実施となります。オンライン参加の方はご参加いただくことができませんので，悪しからずご了承ください。

⑥ 研究発表について

- 研究発表Aは9:20から，研究発表Bは12:35から，研究発表Cは14:50から入室が可能です。
- 資料は，当日チャットにてGoogleドライブのURLをお知らせいたしますので，そちらからアクセスをお願いいたします。資料は，ダウンロード・印刷することはできません。

⑦ 秘密保持について

- ワークショップ，研究発表において事例資料の共有があるため，下記の点を必ず遵守していただくようお願いいたします。
  ・画面の録画録音・撮影・スクリーンショット保存等の行為はしない。
  ・第39回大会のアクセス情報（URL，ID，パスワード）は共有しない。
  ・ひとつのデバイスでの複数人での視聴はしない。また，参加者本人のデバイス以外で視聴しない。
  ・プライバシーを保つことができない空間では視聴しない。
  ・パスワードで保護された安全なインターネット接続を使用し，公衆無線LAN等は使用しない。
  ・事例に関する情報公開は決してしない。

⑧ 臨床心理士継続研修ポイント証明書の発行

- 臨床心理士教育・研修規定別項第2条（3）により，参加者（ワークショップおよびシンポジウムに合わせて参加された方，大会に参加された方），指定討論者，司会者，発表者（ワークショップを含む）には所定の研修ポイントが付与されます。
- 研修証明書は，参加登録システムより各自でダウンロード・出力をし，大切に保管していただくようお願いいたします。

一般公開シンポジウム

日時：2026年10月31日（土）13:30～16:30
会場：京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール

テーマ「共生とはなにか？ー植物と動物との相互関係の研究からー」

基調講演　湯本　貴和（日本モンキーセンター）
指定討論　河合　俊雄（京都こころ研究所）
　　岩宮　恵子（島根大学／にしきまちオフィス）

本大会では「箱庭と植物・動物の共生」というテーマを掲げました。植物も動物も，箱庭のなかで非常によく用いられる，表現において重要な役割を担うアイテムたちです。それらが砂箱の空間のなかでどのように関連し合い，イメージを紡ぎ，一つの世界を織りなしているのかを，生態学における「共生」という視点を補助線とすることで，改めて見つめ直したいと思います。

その試みとして，本シンポジウムでは，長年にわたり屋久島などのフィールドで植物と動物の相互関係を研究してこられた湯本貴和先生をお迎えし，「共生とはなにか？ー植物と動物との相互関係の研究からー」というタイトルで基調講演を行っていただきます。このご講演を受け，指定討論者として当学会の河合俊雄理事と岩宮恵子理事が加わり，臨床的な観点からさらに議論を深めます。生態学の知見と心理臨床の視点が響き合い，箱庭療法におけるイメージの生成や変容のプロセスを捉え直す，貴重な対話の場となることを期待しております。

会員総会　※オンサイトのみでの開催

日時：10月31日（土）16:45～17:45
会場：京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール

［総会次第］
1．理事長挨拶
2．報告事項
　①2025年度事業活動報告・決算報告，並びに監査報告
　②2026年度事業計画・予算報告
　③第39回大会報告
　④次年度大会について
　⑤その他
3．学会賞，河合隼雄賞（奨励賞）贈呈式
4．閉会の辞